

令和4年度短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する
外部評価の実施について

このたび、日本大学短期大学部（船橋校舎）では、教育活動に関する取り組みについて企業の方に評価していただく外部評価を実施いたしました。

今回実施した外部評価の結果（評価票）につきましては、次ページ「令和4年度短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価実施要項」の後に「教育課程・学習成果」、「学生の受け入れ」の順でございますので御覧ください。

なお、評価結果につきましては、真摯に受け止め、今後改善策等を検討して改善に努めてまいります。

以 上

2023年3月20日

日本大学短期大学部（船橋校舎）

令和4年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価実施要項

短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会

短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会

1 目的

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシー及びこれらに対する取り組みの適切性・妥当性等に対する外部評価を行い、短期大学部（船橋校舎）における教育活動のPDCAサイクルを確立し、教育の質保証及び向上に資することを目的として行う。

2 評価項目・評価事項

- ① 教育課程・学習成果（ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー）
 - (1) 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。
 - (2) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。
 - (3) 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
 - (4) 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。
 - (5) 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。
 - (6) 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。
 - (7) 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。
- ② 学生の受け入れ（アドミッション・ポリシー）
 - (1) 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。
 - (2) 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。
 - (3) 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
 - (4) 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

3 評価方法

- ① 本部大学評価室からの依頼に基づき作成した令和4年度自己点検・評価報告書のうち、上記2①及び②の評価項目について、短期大学部（船橋校舎）は取組評価をあらかじめ4段階で評価する。
(A：十分できている、B：おおむねできている、C：一部改善が必要、D：できていない)
- ② 評価者による外部評価は、上記①を基に、短期大学部（船橋校舎）教職員等との面談（協議会の開催）及び書面評価により行う。
- ③ 評価者は、外部評価の結果、優れている点や改善を必要とする点等を評価結果

としてまとめるとともに、外部評価項目の取組評価を4段階で評価する。

(A：十分できている，B：おおむねできている，C：一部改善が必要，D：できていない)

4 外部評価者

西野 孝之介 (にしの こうのすけ)

株式会社SPACE-CREW 代表者，日本大学理工学部建築学科卒業生

5 実施スケジュール

① 令和5年1月 書面評価

自己点検・評価報告書を作成後，外部評価者へ書類送付により評価を依頼する。

② 令和5年2月 協議会開催 (対面にて実施)

概要・現況説明，キャンパス視察等を行う。

6 協議会開催日時・場所・出席者

① 日 時 令和5年2月17日 (金) 午後3時

② 場 所 日本大学理工学部船橋校舎

③ 出席者

(1) 外部評価者

(2) 短期大学部 (船橋校舎) 自己点検・評価委員長

(3) 短期大学部 (船橋校舎) 学務委員長

(4) 短期大学部 (船橋校舎) 入学試験実行委員長

(5) 学科長

(6) (船)庶務課長

(7) (船)教務課長

(8) 自己点検・評価委員長が必要と認める者

7 評価結果

① 令和5年2月末までに，外部評価者から評価結果を提出してもらう。

② 令和5年3月，評価結果を短期大学部 (船橋校舎) 内部質保証推進委員会及び同自己点検・評価委員会において報告を行い，評価結果を踏まえて，次年度以降の教育の質改善に向けた対応を行う。

③ 令和5年3月，短期大学部 (船橋校舎) ホームページにおいて外部評価の結果を公表する。

8 所管課

(船) 庶務課

以 上

令和4年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価
評価票

■教育課程・学習成果

	点検・評価項目	ABCD評価(※)
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	A
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	A
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	B
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	B
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	B
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	B
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	C

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

⑧評価できる点（伸長すべき点，取組が効果を上げている事項など）
シラバスやホームページなどを活用整備して教育課程の十分な情報公開と学習評価の透明性が担保されている。また、少人数クラスなどによるきめ細やかな教育を提供しているためか、全学で行なわれている学修アンケートによれば、他学部と比べても学生の学習意欲が比較的高水準であることが見て取れる。

⑨問題点・今後の課題（改善すべき点，強化が望まれる事項など）
ルーブリックの適用範囲の拡大など取り組んで、膨大なカリキュラムの学習目標を明確化し、評価の公平性を高めていくことが望まれる。また、より社会の変化や実践に即した教育課程の編成のために、カリキュラムや教育環境の整備においても学外の意見を積極的に取り込めるような体制づくりが望まれる。

⑩報告書の記載内容に対する評価，コメント	ABCD評価(※)
(1)点検・評価項目ごとに現状を記載しているか。その内容は具体的か。	B
(2)記述内容は適格かつ簡潔に記載されているか。冗長な文章となっていないか。	B
(3)誤字や脱字，わかりにくい表現はないか。	A
コメント	要点や取り組み、年度ごとの取り組みについて箇条書きのリストもあると評価の一助となります。また、自己評価を続けて教育課程や教育環境を常に改善していくことが社会から求められているのではないかと思います。

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

外部評価者氏名 西野 孝之介

令和4年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価
評 価 票

■学生の受け入れ

	点 検 ・ 評 価 項 目	ABCD 評価(※)
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	A
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	A
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	C
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	B

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

⑤評価できる点（伸長すべき点，取組が効果を上げている事項など）
少子化による志願者の減少に対応すべく、入学案内などの広報活動や学科定員などの見直しに取り組んでいる。また、優秀な学生確保のため、教員自らが高校に出向いて広報活動に取り組んでいる。

⑥問題点・今後の課題（改善すべき点，強化が望まれる事項など）
即戦力の人材育成、学部への編入、修士課程への進学など、短期大学部の強みを検証して、これを広く周知し、少子化や一連の不祥事などに対応して、大学のイメージアップや優秀な人材確保の施策を強化してゆくことが望まれる。

⑦報告書の記載内容に対する評価，コメント	ABCD 評価(※)
(1)点検・評価項目ごとに現状を記載しているか。その内容は具体的か。	B
(2)記述内容は適格かつ簡潔に記載されているか。冗長な文章となっていないか。	B
(3)誤字や脱字，わかりにくい表現はないか。	A
コメント	要点や取り組み、年度ごとの取り組みについて箇条書きのリストもあると評価の一助となります。また、先に記載の通り、外的な要因ではありますが少子化の傾向（毎年1%程度減）は今後も続くため、志願者の確保に対応することが急務ではないかと思われます。

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

外部評価者氏名 西野 孝之介